

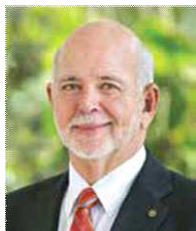


12月のロータリーレートは1ドル=112円 「My Rotary登録状況：11/43≒26%、目標50%」

今年度のテーマ



インスピレーションになる



2018-19年度RI 会長
バリー・ラシン氏
East Nassauロータリークラブ
バハマ (ニュープロビデンス島)



2018-19年度ガバナー
若林啓介氏 (富山RC)



例会便り

第 942 回
12月 6 日

例会出席 20/43 46.51 %
ホテル日航金沢 3 F

助田忠弘 S.A.A.

点 鐘

1. 国歌『君が代』
2. ロータリーソング
『我等の生業』
3. 四つのテスト
4. 武藤清秀会長挨拶



《食 事》

5. ゲスト・ビジターのご紹介



- (1) ゲスト なし
(2) ビジター

高崎 R C RID2840直前ガバナー 田中久夫 (たなか ひさお) 様
高崎 R C パスト会長 市川豊行 (いちかわ とよゆき) 様
高崎 R C 会長エクソ・RID2840地区幹事 広瀬雅美 (ひろせ まさみ) 様



高崎 R C 米山奨学委員長 石井 嘉一 (いしい よしかず) 様
高崎 R C 副幹事 林 義行 (はやし よしゆき) 様
高崎 R C 親睦委員 阿久津照孝 (あくつ てるのり) 様
高崎 R C 親睦委員 石原 理沙 (いしはら りさ) 様



6. 今月の誕生者の紹介

3 日 上田喜之 会員 3 日 柴田未来 会員
10 日 木下真知子 会員



7. 幹事報告・委員会報告



〔幹事報告〕

- ①本日例会終了後、3 F 「孔雀の間」において『理事会』を行います。
- ②来週の例会は「招龍亭」様、再来週は3 F 「孔雀の間」において『年忘れ例会』を開催します。出欠の連絡がまだの方は至急事務局までお知らせください。



8. ニコニコBOX紹介 ¥28,000- 本年度¥193,200- 残高¥4,260,365-

高崎ロータリークラブ：本日はよろしくお願ひします。

武藤清秀会長：皆さん今晚は。パストガバナーはじめ高崎RCの皆様ようこそいらっしやいました。これからもよろしくお願ひいたします。

上杉輝子会員：本日は高崎RC田中パストガバナー他の皆様、ようこそおいで下さいました。当クラブ20周年に際しましても多大な御協力を頂きまして本当にありがとうございました。

浦田哲郎会員：欠席ばかりですみません。

大路孝之会員：高崎ロータリークラブの皆様、ようこそおいで下さいました。懐かしいお顔を拝見しお元気そうでうれしく思います。今日は楽しんで下さい。

魏賢任会員：皆さんこんばんは。2840地区田中直前ガバナーはじめ、高崎ロータリークラブの皆様ようこそおこし下さいました。大路会長エレクト次年度宜しくお願ひします。

年次総会

進行：武藤会長

◇提出された「次年度理事役員」案が承認され、大路会長エレクトよりご挨拶◇



こういう立場になることはロータリークラブに入会した時には思ってもみませんでした。振り返りますと、金沢美大の理事をしていた時にお誘いを受けました。美大の学生が米山奨学生としてお世話になっていた経緯があり、ロータリークラブで美大の留学生のお世話をしているのに美大の関係者が会員にいないのはいかがかということで、学長は忙しいため私が引き受けざるを得ない状況でした。ロータリー歴は6年程で、幹事を2回やりました。ロータリーを知っているかといわれると自信がないのですが、6月末までに勉強したいと思っています。今年度は武藤会長が引っ張ってくださって色々な改革や新しい試みもなされました。次

年度、はたして新しいものを打ち出せるかと考えております。卓話でいい話が聞ければいいかと思っており、自分が成長するときにはいろんな人の優れたお話を聞くことで成長していくということもありますので、私自身も卓話講師の提案をしていきたいと思っています。何はともあれ皆様のご協力のもと、一致団結して金沢百万石RC発展のため全力を尽くしていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

【2019-20年度理事役員名簿】

会 長	大路 孝之		
会長エレクト	江 守 道子		
副 会 長	仲 島 康雲		
幹 事	東海林 也令子		
副 幹 事	助 田 忠 弘		
会 計	西 村 邦 雄		
SAA(会場監督)	矢 来 正 和		
直前会長	武 藤 清 秀		
クラブ管理運営委員会委員長	小 浦 勇 一		
会員組織委員会委員長	井 口 千 夏		
広報委員会委員長	上 田 喜 之		
奉仕プロジェクト委員会委員長	北 村 信 一		
常任理事	石 丸 幹 夫	吉 田 昭 生	
オブザーバー	パストガバナー 炭 谷 亮 一	パスト地区幹事 岩倉 舟伊智	

点 鐘

エネルギー産業の未来（電気システム改革）



手元に2017年9月に日本経済新聞社から出版された「エネルギー産業の2050年Utility 3.0へのゲームチェンジ」というタイトルで、未来のエネルギー産業の新たな姿を描き出したことで話題になった本がある。内容を紹介することにする。

著者は5つのDが電気のみならずエネルギー産業の変革を引き起こすと主張している。

5つのDとは、脱炭素化（Decarbonization）

人口減少（Depopulation）

デジタル化（Digitalization）

自由化（Deregulation）

分散化（Decentralization）

これら5つの英単語の頭文字Dに代表される構造変化を踏まえて、エネルギー産業は新たなビジネスモデルを構築しなければならないと言う。

人口減少とエネルギー消費の効率化により、50年時点での日本の最終エネルギー消費量は現在の約半分になる可能性がある。そのうちの電力については、工場のさらなる電化や電気自動車の一段の普及などにより需要は現在より25%程度増えると見ている。しかしながら、脱炭素化の進展および再生可能エネルギーの導入拡大、発電設備の小型分散化により現在の電力産業ビジネスは維持できなくなる。その結果として既存の電力ビジネスは、現在とはまったく異なる形に転換せざるを得ず、それを実現できた企業だけが生き残れると予想している。

将来の電気産業を見通すうえで重要な点は二つ存在する。

1点目は、電気自動車（以下EV）の普及が重要な要点としている。東京電気ホールディングスは日産自動車と連携して、EVを活用したバーチャルパワープラント（仮想発電所）の実証試験を昨年12月に開始。両社の社員45人が日常生活で使用するEVの蓄電池の充放電を繰り返すことで、発電所に代わる分散電源として調整力の役割を果たせるか確認している。社員にはEVに乗らない時間帯で、かつ電力が余剰になる時間帯に充電してもらい電気が足りなくなる時間帯に放電を要請する。そこでわかったのは、EVを持つ家庭では電気自給率を約80%まで高めることが出来た。今後、再生可能エネルギーやEVなどの技術革新が進んだ場合に、電力の完全自給が可能になることを示唆している。

2点目は、まもなく始まる、スマートメーターと呼ばれる電気使用量をデジタルで計測し、通信機能も持つ電力量計が20年代前半には各家庭へ行き渡る。これは非常に注目に値する。世界に先駆けて電力市場改革に取り組んだ英国で、電力料金比較サイト運営ベンチャー企業を起こした城口洋平氏によれば「電力の使用状況を30分単位で計測して遠隔通信するスマートメーターの情報が異業種企業などの第三者に開放されることが電力ビジネスに大きな変化をもたらす」と。こうした規制緩和が実施された場合、個々人の使用状況に合った時間帯別などの料金プランが作りやすくなり、電力会社間に本格的な競争が生まれてくると予測されている。

さて、2050年を到達点と考えた場合、上記のようなある意味小手先の改革ではなくドラスティックな変化も期待できる。それは核の平和利用に尽きると考えている。2050年頃原発は日本ではひょっとすると稼働はほとんど失っている可能性も出てきた。活発に稼働している場合は、核のリサイクルが成功した場合にのみに限られるだろう。

ドラスティックな変化はエネルギー源として持続な核融合発電が成功した場合にのみ起こると言える。さらにさらに他電源と比較して低コストになればなるほど我々人類は未来の永遠のエネルギーを手にしたことになる。現在使われているベースロード電源とかバックアップ電源等の言葉は霧散するだろう。

近い将来航空燃料は化石燃料に替ってバイオ燃料と電力のハイブリッドによって運行している姿が浮かぶ（現在のジェット燃料はなんと灯油に似ている）。



さざんかは満開

クラブ例会予定

- 12/13 会場変更例会／招龍亭
- 12/20 年忘れ例会
- 12/27・1/3 休会
- 1/9 (水) 18:30 金沢東急H5F
「8RC新年合同例会」
- 1/10 振替休会
- 1/17 花井俊一郎氏卓話
理事会
- 1/24 卓話者未定
- 1/31 第1回オリエンテーション

2018～19理事役員名

役員 (8名)

会長 武藤清秀 会長エクト 大路孝之 副会長 江守道子 幹事 井上正雄
副幹事 東海林也令子 会計 西村邦雄 S. A. A. 助田忠弘 直前会長 上杉輝子

理事 (14名)

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガパナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

委員会	クラブ管理 運営委員会	会員組織 委員会	広報委員会	奉仕プロジェクト委員会			
委員長	布施美枝子	表 靖子	上田喜之	野村礼子			
副委員長	浦田 哲郎	宮永満祐美	矢来正和	魏 賢任			
委員	①親睦 浦田哲郎 後出博敏	①会員増強 東海林也令子 井口千夏 上杉輝子	①広報 高田重男 辰巳クミ	①職業奉仕 谷俣法子 大沼俊昭 相良光貞 道端勝太	②社会奉仕 土田初子 北村信一 吉田昭生	③国際奉仕 R財団その他 岩倉舟伊智 炭谷亮一 大平政樹	④青少年奉仕 国際青少年交換 江守道子 金 沂秀
	②例会 例会 仲島康雲 杵屋喜三以満 永原源八郎	②オリエンテーション 宮永満祐美 野城 勲	②ローター情報 水野陽子 竹田敬一郎			米山契学会 藤間勘菊 魏 賢任	
	SAA 助田忠弘 衣川昭浩		③会報 矢来正和 石丸幹夫 柿木健雄				
	CCC 木下真知子 小浦勇一 柴田未来						

例会会場 ホテル日航金沢5F〒920-0853金沢市本町2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日19:00

事務室 ライブ1ビル2F〒920-0852金沢市此花町3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページURL http://100rc.jp/

事務局執務時間 月火水金10:00～15:00 休憩時間12:00～13:00 休日(土日祝日)